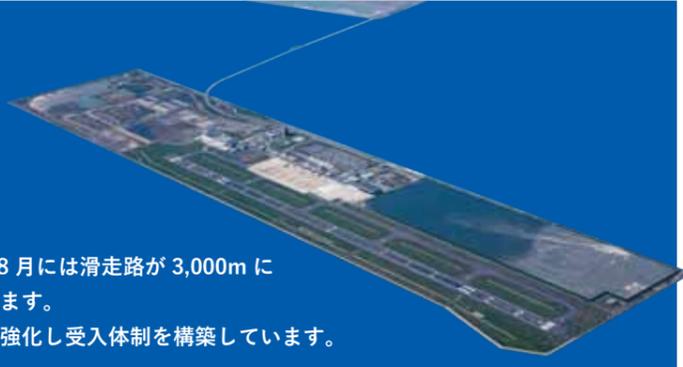


# 九州・西中国の物流拠点空港として、さらなる発展を目指す北九州空港。

九州で唯一の24時間空港である、眠らない海上空港の北九州空港。  
2025年10月には航空貨物上屋（フォワーダー）施設の供用開始、2027年8月には滑走路が3,000mに延伸する予定であり、北米・欧州への大型貨物直行便の運航が可能となります。  
今後ますます拡大する貨物需要に対応するため、北九州空港は物流機能を強化し受入体制を構築しています。



### 主な特徴

北九州空港は、物流拠点空港として、さまざまなメリットを有しています。

### 24時間空港

九州で唯一！  
柔軟な運航スケジュールによって、最適な物流フローを実現。

### 滑走路延伸

3,000m化決定！  
2027年8月末に供用開始予定。  
北米・欧州への直行便が就航可能に。

### 交通の要

陸・海・空で本州と九州を繋ぐ好立地。  
2024年問題の緩和に貢献。

### コンパクト空港

スポットが貨物上屋の目の前に位置しており、ダメージリスクを軽減。

### 海上空港

特殊貨物のシー＆エア輸送が可能。  
リードタイムの圧縮とコスト軽減を実現。

# Kitakyushu Airport Air Cargo Terminal KKJACT, action starts!

Operation starts from October 2025!

入居者募集中！ 施設見学対応

2025年10月、北九州空港航空貨物上屋（フォワーダー）施設が、いよいよ始動。

北九州空港は物流拠点空港として、ポテンシャルの高い立地と環境等を備えています。



- ✕ **スピーディーな物流を実現する充実した交通網**  
九州自動車道、東九州自動車道、中国自動車道の結節点であり、北九州港、苅田港といった陸・海・空の交通インフラも揃っており、国内外とのアクセスもスムーズに行えます。
- ✕ **物流拠点としての北九州空港**  
国際貨物定期便として2路線（大型・中型貨物機）、国内貨物定期便として4路線（小型貨物機）が就航しています。
- ✕ **シー＆エア輸送が可能**  
海上空港の特徴を活かして、航空輸送した貨物を空港島内の護岸から海上輸送することが可能です。



### 就航状況

[2025年2月現在]

貨物	国内線	東京(成田・羽田)、沖縄(那覇)、北海道(新千歳)	ヤマトグループ (運航会社: スプリングジャパン) (A321-200P2F)
貨物	国際線	ソウル(仁川)	大韓航空 (B747F)(B777F)
		深圳	UPS (B767F)
旅客	国内線	東京(羽田)	日本航空 (B737-800)
			スターフライヤー (A320-1X1)
	国際線	ソウル(仁川)	ジンエアー (B737-800)
		釜山	ジンエアー (B737-800)
		台北(桃園)	スターフライヤー (A320-1X1)
	大連	中国東方航空 (A320-1X1)	

※注1: 一部便を除き全日空とコードシェア ※注2: 大韓航空とコードシェア ※注3: 運休中



北九州空港航空貨物上屋（フォワーダー）施設 運営主体

※画像はイメージとなります。

# 北九州空港に待望の航空貨物上屋(フォワーダー)施設が誕生。

フォワーダーおよび  
関連事業者の皆様の

## 入居者募集中!

北九州空港では初となる航空貨物上屋(フォワーダー)施設が、2025年10月に運用を開始しました。事務所や倉庫、荷捌き場等の十分な作業スペースを確保し、充実した設備環境のもと、安心・安全な貨物輸送サービスをご提供します。今後ますます拡大・多様化する輸送ニーズにしっかりと対応してまいります。

### 北九州空港航空貨物上屋(フォワーダー)施設・施設概要

- 名称 | 北九州空港航空貨物上屋(フォワーダー)施設
- 場所 | 北九州市小倉南区空港北町 北九州空港内
- 規模 | 1区画当たり(事務所・倉庫・荷捌き場 各 67.00㎡)  
全5区画延べ(事務所・倉庫・荷捌き場 各 335.00㎡)
- 用途 | 航空貨物上屋のフォワーダー事務所及び倉庫、荷捌き場、駐車場等  
※倉庫は、定温倉庫に仕様変更可能(オプション)
- 構造 | 鉄骨造 2階建て
- 敷地面積 | 3,096.00㎡
- 工事期間 | 令和7年3月~令和7年9月
- 運用開始 | 令和7年10月
- 設計・施工 | 生和コーポレーション株式会社
- 運営主体 | 株式会社エアワールド



※3Dイメージ



※北九州空港 貨物地区

### 北九州空港航空貨物上屋(フォワーダー)施設・主な特徴



#### 万全のセキュリティ

空港制限区域内の施設であるため、最高クラスのセキュリティが担保可能。  
RA(Regulated Agent)認定対応の施設です。



#### 空港制限区域内の利便性

空港制限区域内に立地し、物流関連業務に対応する高い利便性と柔軟性を備えています。航空貨物業務に関する効率的な処理を支える機能的な施設です。



#### 定温倉庫に変更可能

10℃~20℃の温度帯で作業可能な定温倉庫に変更できるオプションを備えています。温度管理が必要な貨物のクオリティを保つことができます。



#### 十分な荷捌き場を確保

10tトラックの入出庫が可能な荷捌き場を確保。十分な作業スペースで、雨天時の対応も安心・安全に行うことができます。



#### 北九州空港で初の施設

北九州空港では初となる航空貨物上屋(フォワーダー)施設です。半導体関連や自動車関連等の産業によって、今後大きな成長が見込まれる空港に進出できます。



#### 柔軟な契約形態

チャーターフライト等の多様な運用に対応するため、マンスリー契約などお客様のニーズに応じた柔軟な契約形態をご用意しております。

#### 区画

1区画 | 1階倉庫・2階事務所 [各 67.00㎡ (20.26坪)]

※2区画等の利用も柔軟に対応いたします。

#### 付帯設備

- 1階・倉庫 | 電動シャッター、照明器具
- 2階・事務所 | エアコン、ミニキッチン (IH)、照明器具

#### 賃料

使用するエリアや用途等に応じて、適正価格でご提供します。  
※賃料に関しては、相場等を考慮して個別にご提案いたします。  
※敷金や礼金、火災保険等の詳細な契約事項につきましては、別途ご案内いたします。

#### 入居対象者及び条件等

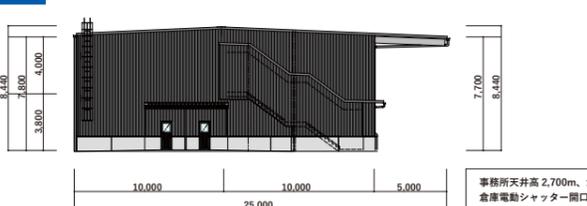
空港制限区域内での事業運営が必要とされる企業  
[国際貨物取扱業者やフォワーダー、通関業者、空港・航空関連事業者など]  
※空港制限区域の管理規則に準拠できる企業様に限らせていただきます。

#### 立面図

##### 東側



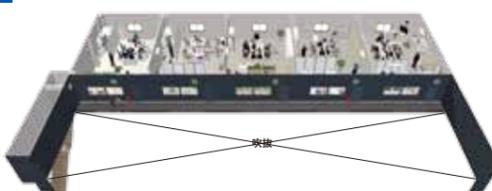
##### 南側



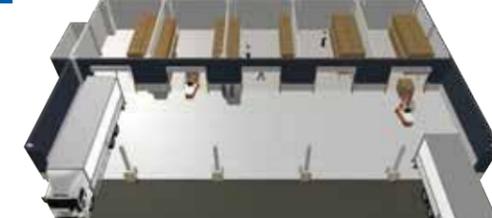
事務所天井高 2,700mm、倉庫天井高 3,750mm  
倉庫電動シャッター開口高 3,000mm

#### 施設内・3Dイメージ

##### 2階・事務所



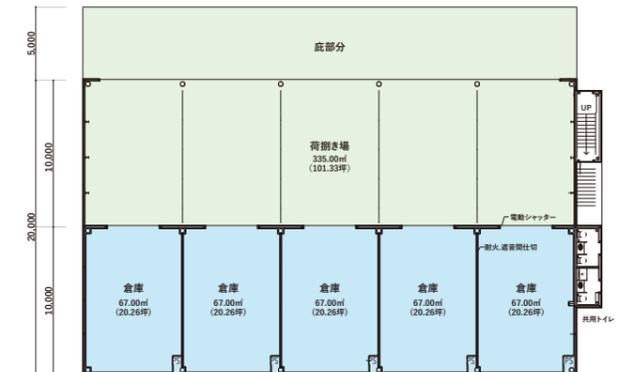
##### 1階



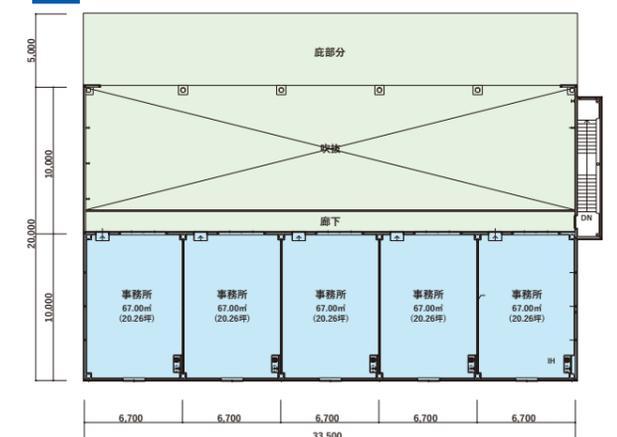
#### 平面図

倉庫 事務所

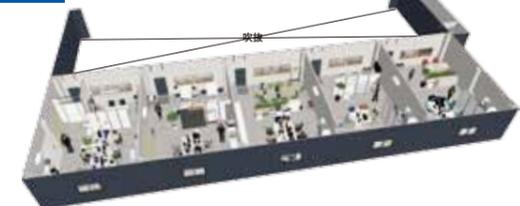
##### 1階



##### 2階



##### 2階・事務所



##### 1階



※画像はイメージとなります。